

豊かな市民社会づくりを目指し

# ボランティア コーディネーター研修会



ボランティアコーディネーターは、なぜ、市民に社会参加を呼びかけるのでしょうか。なぜ、ボランティアや市民活動団体を支援するのでしょうか。それは、多くの市民の参加と行動によって豊かな市民社会づくりを目指しているのです。鹿児島県社会福祉協議会は、ボランティアコーディネーターのあり方や指導技術の向上を目指し、昨年の11月10日・11日の2日間、県青少年会館で「ボランティアコーディネーター研修会」を開催しました。

## ■ボランティアコーディネーターの役割

社会福祉協議会のボランティアコーディネーターは、ボランティア活動における「調整者」として「ボランティアをしたい人」と「ボランティアを受けたい人」を結びつけ、ボランティア活動が効率的かつ効果的に進められるよう支援を行う重要な役割を担っています。

特に市町村社会福祉協議会にはボランティアコーディネーターや福祉活動専門員などの呼称で配置され、専門職員としてボランティア育成研修会・講座の企画運営、相談・援助業務、情報提供、実技指導などにあたり、市民の多様なボランティアニーズに応えられるよう積極的に業務を推進しています。



災害ボランティアセンター実地訓練(ニーズ聞き取り)

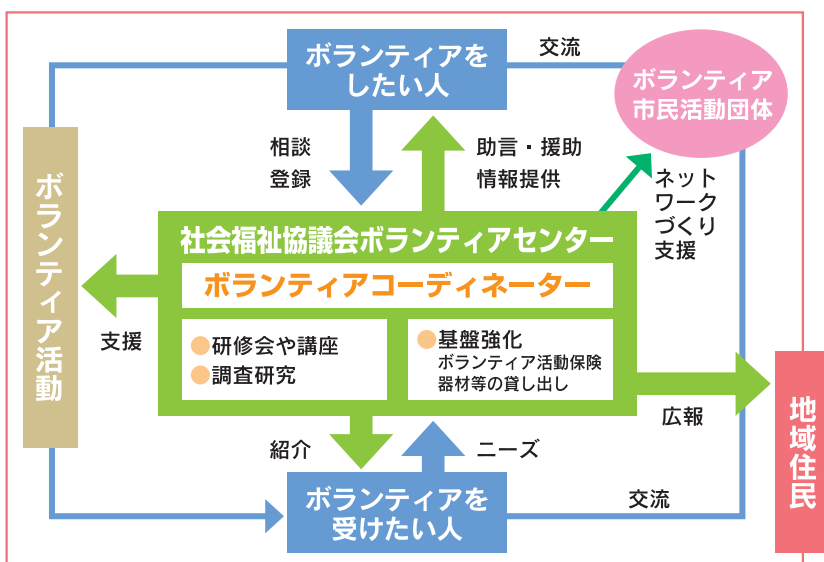


図上訓練(DIG)



課題解決のためのグループワーク

## ■ボランティア推進体系図



## ボランティア センターの活用

ボランティアコーディネーターは、企画立案力、相談助言力、人的資源の開発力、マネジメント力、広報企画力、ネットワーク力などが必要で重要な任務を果たさなければなりません。

県社協ボランティアセンターは、市町村社協と協力してボランティアや市民活動団体の負託に応えられるよう研修の充実に努めてまいります。ボランティアについての相談は、県及び市町村社協ボランティアセンターへどうぞ。